

No.3

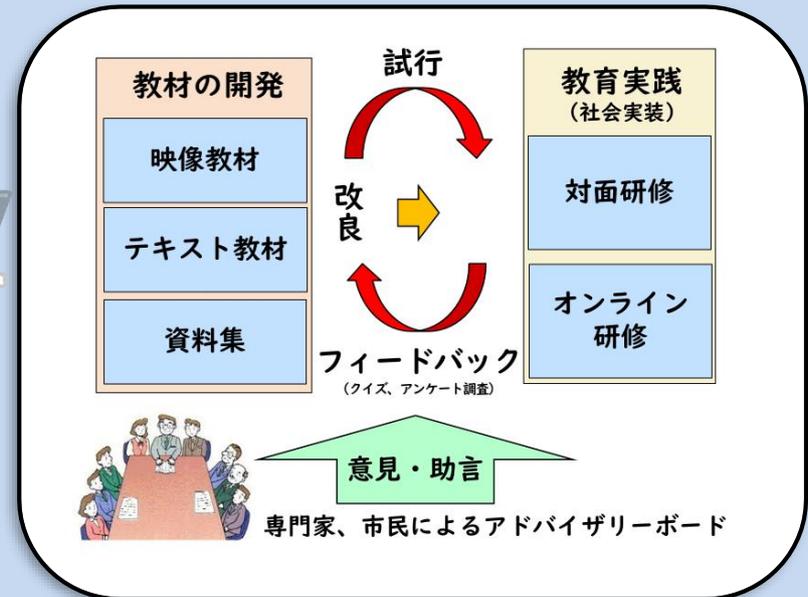
都民と医療・介護従事者を暴力等から守る、安全で安心な医療・介護環境の整備事業

0.8 億円程度
(事業期間3年間)

医療・介護現場では患者等による暴言・暴力等が深刻化している。都民や医療・介護従事者に安全で安心な医療・介護環境を保障するために、実態把握や、業務関係者対象の研修教材開発等を行い、対策基盤を整備する。

調査票の開発と実態把握	体系的な調査票の開発 実態把握
研修プログラム開発	映像教材の開発
	テキスト教材の開発
	資料集の作成
	モデルカリキュラムの策定
対策基盤の開発 (オンラインプラットフォーム)	事例収集基盤(施設から都へ報告)
	情報発信基盤(都から施設へ発信)
	オンライン研修基盤

事業の全体像



研修プログラム開発の概要

○ 調査票の開発／実態把握

- ・ 理論・実践の観点から検討し、暫定版の調査票を開発する。医療・介護施設で実装・改良し体系的で継続的に使用可能な調査票を開発する。同調査票を用いて都内の施設で調査し、実態を詳細に把握の上、施策上の課題を明確にする。

○ 都内のすべての医療・介護関係者がいつでもどこからでも無料で学べる環境の整備

- ・ 理論・実践の観点から検討し、基礎・予防対策・発生時対応・再発防止対策・犯罪の5編10科目構成の体系的研修プログラム（映像教材、テキスト教材、資料集）を開発する。オンライン基盤を構築し、いつでもどこでも学べる環境を整備する。

事業実施による効果

- ・ 体系的で継続的な実態把握により、施策の立案・実施・効果検証が可能になる。
- ・ 開発教材により各組織の対策が促進され、安全で安心な医療・介護環境が整備される。